

男子 決勝リーグ 福島南 71-38 郡山 (6/10)

男子決勝L

福島南対若松商業、郡山対福島東稜、若松商業対郡山

これらの戦評につきましては、担当の不手際により作成しておりませんでした。関係の皆様にお詫び申し上げます。

第1P、福島南・郡山共にハーフコートマンツーマンでゲーム開始。序盤から福島南の#4、#5の猛攻が続きペースを握る。郡山も#6、#9などが反撃するも福島南の勢いを止めることができないまま第1P終了。第2P、第1P同様に試合が進み、福島南の激しいディフェンスからの速攻、#5の3Pシュートが決まり、さらに点差が開き、39対15で前半終了。第3P、前半同様に、#5、#10のドライブインと3Pシュート、#4のインサイドシュートが決まり得点を伸ばす。郡山も#7のドライブインや#6のインサイドプレイで仕掛けるが、得点は伸びずリズムがつかめない。第4P、福島南はメンバーを入れ替える余裕を見せ、郡山の#7の3Pシュート、#6のリング下のシュートなどが決まり、点差が縮まる。しかし、福島南の勢いを止めることができず終始福島南のリズムで試合が進んだ。最後まで激しいディフェンスと速い攻めを続けた福島南が郡山を圧倒し、71対38で勝利した。

(武田秀司)

男子決勝L 若松商業 58-88 福島東稜 (6/10)

福島東稜のオフェンスで始まる。若松商業は2-3ゾーンディフェンスで守るが、福島東稜#23のドライブインから#21へのパスで3Pシュートが決まる。若松商業も速いパス回しから得点を重ね、残り3分で2-2-1ゾーンプレスで巻き戻しにかかるが11対23で第1Pを終了する。第2Pは若松商業#4と#6の3Pシュートが決まり好調なスタートであったが、福島東稜#23の高さに苦戦する。残り5分、福島東稜#4のドライブインが決まり31対21とリードを2桁にする。その後も得点を重ね前半を終了する。両チーム共に前半と同じディフェンスでスタート。若松商業は残り5分でタイムアウトをとる。徐々に若松商業が東稜のゾーンディフェンスを崩し始め、第3Pは互角の戦いであった。第4Pはゾーンディフェンスを速いパスで攻めた若松商業が得点を入れる。残り7分に福島東稜はタイムアウトで流れを止めようとしたが、若松商業も#4の3Pシュートや速攻で点差を縮める。残り3分、福島東稜#23のゴール下シュートが決まり、98対52で福島東稜がリードを守る。その後も得点を重ね、58対88で福島東稜が勝利した。

(渡邊かおり)

男子決勝リーグ 福島南 62-49 福島東稜 (6/11)

第1P、福島南はハーフコートマンツーマン、福島東稜は2-3ゾーンでゲーム開始。福島東稜は速攻からの#23のパワープレイなどで得点し、福島南は#6の連続3Pシュートや#4、#5の冷静な1対1などで得点し、ペースを作る。第2P、ゴール下を固める福島東稜のディフェンスに対し、福島南の3Pシュートが決まらず苦しい展開。福島東稜は#39のドライブからの得点などで点差を詰め、福島南の5点リードで前半終了。第3P、福島南は巧みなパスワークからの得点、堅いディフェンスからの速攻で10点差とし、福島東稜はたまらずタイムアウト。#23を起点とした攻撃に切り替える。福島南#4が4つ目のファウルとなるオフenseファウルを取られベンチに下がる。第4P、流れを戻したい福島南は#4を早めにコートに戻し、連続得点でリードを広げる。残り2分、福島東稜は2-2-1ゾーンプレスで相手のミスを誘うが、冷静にボールをつないだ福島南が62-49で福島県1位でのインターハイ出場を決めた。

(伊藤勝行)